

～ 「新型コロナウイルス感染症」後の新しいパラダイムで
「自己保健能力」の高い学生人材輩出 と これからの健康経営を
マーケティング視点で考える産学連携プロジェクト～

『大学対抗「健康」×「マーケティング」コンペティション 2020』実施のご報告

「健康経営」の企業固有の課題に対し、新型コロナウイルス感染症によってもたらされた新たなパラダイムで、自己保健能力を身につけていながら、それをどう企業活動に結びつけるのが良いのかマーケティング視点で、就職を見据えた大学生、サポートする大学講師陣と連携し解決策を幅広く模索するオープンイノベーションの場となる、ピッチコンペティションを実施しましたので、ご報告します。

実施概要

● 主催

一般社団法人 社会的健康戦略研究所

● 後援

株式会社 朝日新聞社

● 協力

一般社団法人 日本健康生活推進協会（健康マスター検定協会）【教育コンテンツ】

コードブック株式会社【運動コンテンツ】

株式会社トラヴォス【コンテンツインテグレーション】

● 参加企業

株式会社イトーキ

第一生命保険株式会社

株式会社ハローデイホールディングス

株式会社丸井グループ

三井住友海上火災保険株式会社

（五十音順）

● 参加大学

13 大学 16 ゼミ（ゼミ指導教官）から 48 チームが参加

北海道	小樽商科大学	商学部	（鈴木准教授）
	小樽商科大学	商学部	（近藤教授 副学長）
東北	山形大学	人文社会学部	（兼子准教授）
関東	青山学院大学	経営学部	（石井准教授）
	専修大学	商学部	（大崎准教授）
	亜細亜大学	経営学部	（西原准教授）
	亜細亜大学	経営学部	（福田専任講師）
	和光大学	経済経営学部	（大野准教授）
	神奈川大学	経営学部	（中見准教授）
	神奈川大学	経営学部	（行本准教授）
	駒澤大学	経営学部	（菅野教授）
	横浜市立大学	国際商学部	（柴田准教授）
中部	名古屋学院大学	商学部	（濱教授）
関西	大阪市立大学	経営学研究科	（圓丸准教授）
九州	福岡大学	商学部	（杉本教授）
	西南学院大学	商学部	（三井准教授）

● 実施スケジュール

7 月 10 日 17 時	オリエンテーション 参加企業課題概要発表
7 月 20 日～	参加企業個別課題説明会
	自己保健能力向上 8 週間 LINE プログラム開始
10 月 5 日～	中間報告会（一部 9 月 28 日実施）
	ゼミ対抗フィットネスチャレンジ開始
11 月 6 日 17 時	5 企業課題別ピッチを同時実施
19 時 45 分	表彰式 閉会式

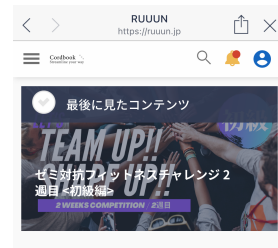
● 実施プログラム

（1） 自己保健能力向上プログラム 221 名参加

- ・ 8 週間 LINE 個人プログラム（教育と運動 個人とゼミ単位で評価）
56 日のうち、221 人中 7 割に当たる 40 日以上を 146 人が実施
- ・ 2 週間ゼミ対抗フィットネスチャレンジ（運動 ゼミ単位のみで評価）
リモートでのゼミ生同士の励まし合い



8週間 LINE で個人に通知



LINE から2週間ゼミ対抗で実施

両プログラムを通じた参加者の感想例

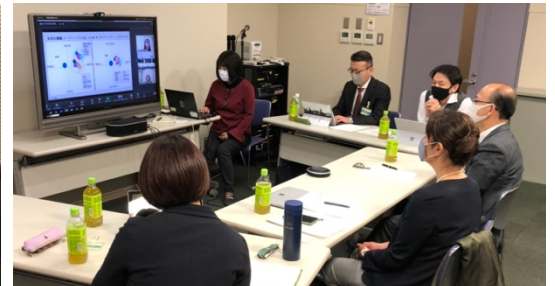
「新型コロナウイルスの影響を受けたが、このプログラムのおかげで運動ができ
これまであまり意識していなかった健康に関する知識を得られたため、
将来を考えるきっかけになった」

両プログラム総合結果

第1位	亜細亜大学	西原ゼミ
第2位	山形大学	兼子ゼミ
第3位	横浜市立大学	柴田ゼミ

(2) ピッチコンペティション 13大学 16ゼミ 48チーム参加

5つの企業からの難課題に対し、各チームから、様々なマーケティング視点で、
熱量のあるプレゼンテーション、甲乙つけがたいアイデアが披露された。



企業担当者へのオンラインプレゼンテーションの様子

【イトーキ】 10チーム参加

(課題)

ポストコロナ時代のウェルビーイングな働き方を実現させる
イトーキのビジネスとは

(評価ポイント)

課題の深掘り、ユニークな分析、発想の独自性、実現度合

大賞 専修大学 大崎ゼミ

2位 西南学院大学 三井ゼミ 小樽商科大学 鈴木ゼミ

【第一生命】 10 チーム参加

(課題)

健康増進に向けた従業員の行動変容を促すための企業の取組策、
第一生命として提供するサービス・保険商品とは

(評価ポイント)

企業の課題、従業員の課題、第一生命の課題を、ビジネス視点で提案

大賞 横浜市立大学 柴田ゼミ

2位 専修大学 大崎ゼミ

3位 名古屋学院 濱ゼミ

【ハローデイ】 9 チーム参加

(課題)

- ・従業員の定期健康診断再検査者の再受診促進方法
- ・従業員の新型コロナウイルスに対応する「新たな生活様式」に、
飽きずに付き合う方法（どちらか選択）

(評価ポイント)

実態把握、原因分析、対策立案、発表時間

大賞 神奈川大学 行本ゼミ

2位 福岡大学 杉本ゼミ第1グループ

3位 名古屋学院 濱ゼミ

【丸井グループ】 9 チーム参加

(課題)

丸井グループの「ウェルネス経営」の取り組み意義の大きさを、
顧客・企業両視点からグループの「価値創造ストーリー」と共に提示

(評価ポイント)

説得力、ストーリー性、定量分析、熱量、実現性

大賞 横浜市立大学 柴田ゼミ

特別賞 神奈川大学 行本ゼミ

【三井住友海上火災】 10 チーム参加

(課題)

三井住友海上のグループが保有する顧客データや事故情報、マーケティング手法、
健康経営・自己保健能力を組み合わせた「新たな保険商品やサービス」、それを
活用した「マーケティング施策」とは

(評価ポイント)

健康経営がステータスになる社会の世界観、時間軸の表現

大賞 小樽商科大学 鈴木ゼミ

2位 山形大学 兼子ゼミ

3位 横浜市立大学 柴田ゼミ

特別賞 大阪市立大学 圓丸ゼミ

後援【朝日新聞社】48 チームから選定

(評価ポイント)

SDGs 視点

朝日新聞社賞 小樽商科大学 近藤ゼミ 三井住友海上火災チーム

特別賞 神奈川大学 行本ゼミ 三井住友海上火災チーム

主催者【社会的健康戦略研究所】48 チームから選定

(評価ポイント)

社会的健康度を高め、広げる施策

大賞 横浜市立大学 柴田ゼミ 三井住友海上火災チーム

企業課題への取組み総合力をゼミ単位で評価

優秀ゼミ賞 小樽商科大学 近藤ゼミ

優秀ゼミ賞 小樽商科大学 鈴木ゼミ

● 次回『大学対抗「健康」×「マーケティング」コンペティション 2021』

2021 年 5 月中旬開始を予定しています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

一般社団法人 社会的健康戦略研究所 産学連携プロジェクト事務局担当 篠原

e-mail : shinohara@kenko-senryaku.or.jp